

R7年度地域連携推進会議（虐待防止・福祉サービス苦情解決委員会） 実施報告書

支援部生活支援課

◆実施日時：令和8年2月26日（木）13:30～15:15

◆会場：管理医療棟3F会議室

◆会場の主旨等

・施設と地域が連携し、以下の目的を達成するために、地域の関係者を含めた外部の方が参画する会議体

- ① 利用者と地域との関係づくり
- ② 地域の人への施設や利用者に関する理解の促進
- ③ サービスの透明性・質の確保
- ④ 利用者の権利擁護

・年1回以上、会議と施設訪問を実施

※令和6年度は努力義務であったものの、7年度からは完全義務化

◆会議事項

- (1) 施設の運営状況について
- (2) 利用者の権利擁護について
- (3) 施設見学
- (4) 意見交換

<いただいた主なご意見等の要旨> ※詳細は次頁以降を参照

【利用者】

- ・利用者が取り組むゴールに向けた進捗管理をどうしているのか。本人家族と到達度が分かるような「取組の見える化」が必要。
- ・自然災害（地震）に対する意識をもっと高めて欲しい。

【利用者家族】

- ・利用する前は不安が大きかったが、本人が頑張って訓練に取り組むいる姿に自分が励まされた。
- ・施設の老朽化の現状に正直驚いた。移転建替を検討しているとのことだが、よい施設となることを期待している。

【外部委員】

- ・利用者が多いにもかかわらず、新型コロナ等の感染症例が少ないことに驚いた。
- ・「経営強化プラン」等により、センターにおけるリハビリ機能が明確化され、民間病院等との役割分担がはっきりしていることを認識できた。
- ・地元区として災害時等では、センターとしっかり連携を図っていきたい。

令和7年度 地域連携推進会議（虐待防止・福祉サービス苦情解決委員会）次第

日時：令和8年2月26日(木) 午後1時30分～午後3時

場所：管理医療棟 3階会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 出席者紹介

4 会議の概要説明

5 会議事項

(1) 施設の運営状況について

(2) 利用者の権利擁護について

6 施設見学

7 意見交換

8 閉 会

令和7年度地域連携推進会議（虐待防止・福祉サービス苦情解決委員会） 議事録要旨

1. 日時 令和8年2月26日（木） 13時30分～15時15分
2. 場所 管理医療棟3階大会議室
3. 出席者 利用者・家族 A 家族、B 家族
第三者委員 C 委員、D 委員
下駒沢区 E 区民
センター委員 常田総務課長、保科地域連携課長、
飛沢支援部長、西山生活支援課長、三浦看護師長
事務局 塩入生活支援専門員、小林サビ管、鶴田主幹作業療法士、
吉池訓練指導員

4. 議事の経過・質問等

(1) 施設の運営状況について（資料に基づき部長説明）

(2) 利用者の権利擁護について（資料に基づき塩入生活支援専門員説明）

(3) 施設見学

機能訓練室、経理事務科、自動車運転科、能力開発科、食堂、健康管理室、
生活支援課職員室等（案内・説明：西山生活支援課長等）

(4) 意見交換（要旨）

○利用者A様より

・障害者年金の手続きについて教えて欲しい。

○センター回答

・傷病手当と同時に受給できないため、施設を退所する時期をみながら個別にご案内しているところ。所管は年金センターになるが、申請手順等が分かるようご案内してまいります。

○利用者B様より

・利用してよかったと率直に思っている。職員の方々も接しやすかった。自分の希望を最後まで聞いてもらい解決に導いてもらったと持っている。施設の役割りとして社会復帰へのハブ機能を果たしていると認識。訓練のためのバリューチェーンもしっかりできている。

・課題としては、利用者の取組むゴールに向けた進捗管理がよく分からなかった。到達度が分からないため、取組の「見える化」が必要。「マイルストーン」が共有されると利用者のモチベーションアップにもつながる。現時点ではPDCAがしっかり出来ているとはいえない状況。

・また、支援会議では口頭の説明が多く、資料が共有されても文字ばかりで、理解が深まらない。もう少し利用者本人や家族の理解度が深まる工夫が必要と思う。

○センター回答

- ・貴重なご意見をいただいた。先日もある利用者から同様のご意見もいただいております、利用者様やご家族様に理解してもらい易い工夫を検討してまいります。

○利用者Aご家族様より

- ・自動車運転訓練を主目的に利用し始め、結果的に長期間の利用となってしまったが、職員の方には感謝している。初めてセンターに入った時は老朽化による施設・設備に正直驚いた。建て替えを検討しているとのことだが、よい施設となることを期待している。

○センター回答

- ・設備等の老朽化により様々な面でご不便をお掛けしていることに大変申し訳なく思う。新センター建設にあたっては、職員だけでなく利用者様からのご意見も反映できるよう取り組んでまいります。

○利用者Bご家族様より

- ・10月間に渡り主人を支えていただいた。利用する前は不安が大きかったが、主人が頑張る訓練に取り組む姿に私が励まされた。
- ・支援会議は家族の立場としては、情報共有をしてもらってよかった。ただ、メモを取ることは出来なかったため、次第には簡単に箇条書きだけでもよいので記載されていると助かった。

○センター回答

- ・現在内部でも検討しており、その方向で改善を進めてまいります。

○利用者B様より

- ・支援会議でのアジェンダの共有は必須。そもそも会議は共有する場ではなく、議論する場ではないか。出来るだけ事前に共有いただき、今後、どうしていくのかという議論ができる場になるといい。共有だけなら、わざわざ対面で集合する必要はなく、資料共有で済むのではないか。仕事をしている家族が休暇を取って出席している状況も考慮していただけるとありがたい。
- ・老朽化という話も出ているが、利用していて災害に対する意識をもう少し高めてもらいたい。訓練室の棚には書類が多いのだが、突っ張り棒で固定している訳でもないため、倒れてきたら危ないなと感じていた。場所によっては、消火器の周りに物が置かれていたりするところもある。

○センター回答

- ・会議のあり方のご指摘のとおり。状況によってはオンラインでの出席なども受けているところだが、少しでも意味のある会議を開催できるよう検討してまいります。
- ・防災に関するご指摘は、利用者の皆さんが安心して安全な訓練や生活を送っていただけるよう、センター全体でも共有し取り組んでまいります。

○C委員

- ・今回初めて参加させていただき、多くの「気づき」をいただいた。特に利用者様本人から提案された訓練に対するゴール設定や現在の到達度を「見える化」して欲しいという意見は、参考にしたい。
- ・これだけの職員や利用者がある状況下で、新型コロナ等の感染症例が少ないということに驚いた。
- ・「経営強化プラン」等により、センターにおけるリハビリ機能が明確化され、民間病院等との役割分担ははっきりしていることが認識できた。
- ・説明にもあったが、日常生活そのものが訓練の場ということで、見学させていただいた洗濯室の洗濯機がそれぞれの高さが異なっており、車イスの方でも利用しやすい工夫をしていた。そのような生活の場面も訓練に繋がっていることが分かった。
- ・利用者は40～50代の働き盛りの方が多く、退所後、どう地域と繋がっていくのか、外との繋がりが増えるといいと感じた。繋がりの一つとして近くに買い物ができる場所・施設はあるのか。

○センター回答

- ・退所して家庭や職場に戻られた後が大切。施設内にもちょっとした買物が出来る売店はあるが、昨年11月には車で10分程移動するとイオンモールがオープンしたので、そのような社会資源を活用し、その方々の社会生活力が高められるような支援に取り組んでまいりたい。
- ・また、地域で安心して生活ができるよう地元の事業者さんへの繋ぎ等も丁寧に取り組んでまいりたい。

○D委員

- ・地元に住んでいながら、センターの防災訓練で中に入ったことはあったが、見学まではしたことが無かったので、どんなことをしているのか初めて知った。これからセンターのことや障がい者のことを勉強していきたい。

○センター回答

- ・地元地域の方のお力添えが必要なので、宜しく願いしたい。

○E区民

- ・D委員と同様に初めて中に入った。建物が老朽化していることから移転を検討しているとのこと。規模が縮小したり隣接のサンアップルを利用しにくくなってしまうことも予想されるが、出来るだけ利用者に不便がないようにしてもらいたい。
- ・自動車運転訓練場まで移転するのか。検討されている候補地はかなり狭いようだが。
- ・障害者支援施設の現在の利用率はどれくらいなのか。地元の私達も利用することが出来るのか。の災害時には地元住民としてセンターと連携を図っていきたい。

○センター回答

- ・機能訓練や職業訓練は平日のみ行っており、土・日曜日等の休日にサンアップルを利用する方は多い。移転しても引き続きサンアップルを利用できる仕組みや、新たな場所で何が出来るかを検討してまいりたい。

- ・ 現在、移転の検討を進めている場所の敷地は今よりも大分小さくなるので、自動車運転訓練場は現在の場所を引き続き利用することとしている。
- ・ 施設の利用率は、コロナ禍や台風浸水被害の影響もあり、現在は入所定員に対し、5割強の状況。この施設の利用対象者は誰もが利用できるということではなく、障害者手帳を取得し市町村から障害福祉サービス利用の支給決定を受けた方。
- ・ 特に災害時は地元のみなさまのお力添えをいただかないと速やかに避難等することも出来ない場合もあるので、何卒、連携をお願いしたい。また、地元区からこのような連携が出来ないか等というご提案があれば検討してまいりたいので、宜しくをお願いしたい。

(終)